

中山観光・季節のおはなし・旅便り

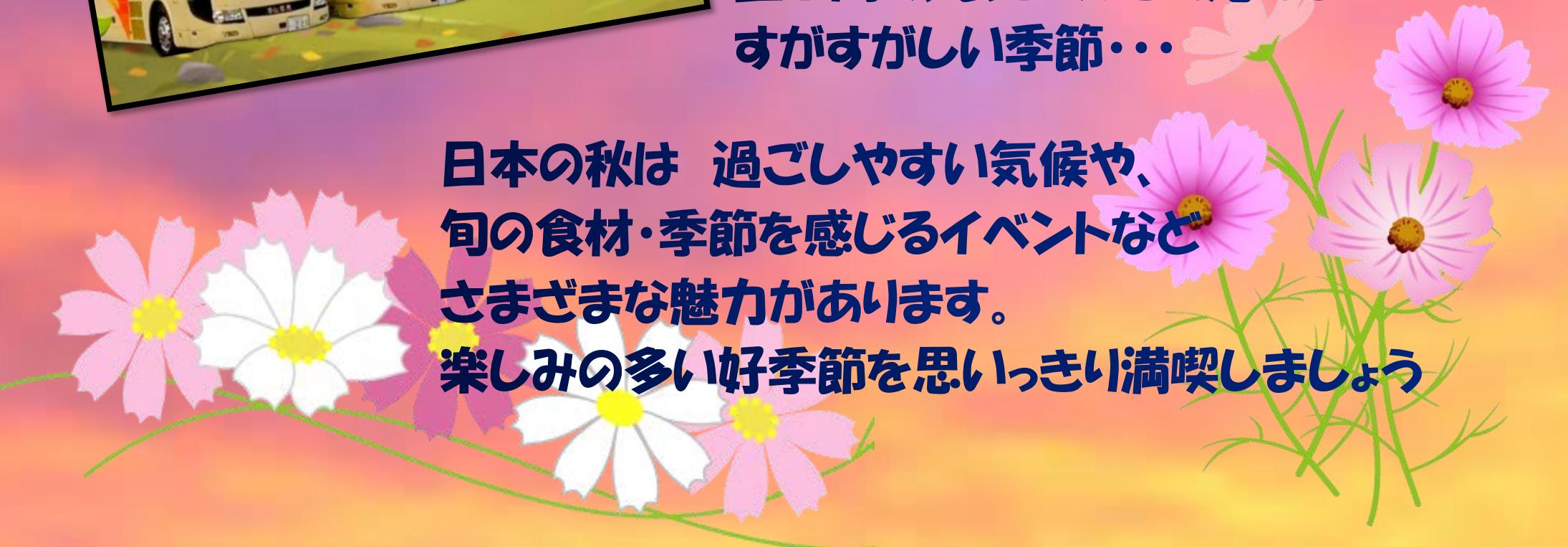
10月



コスモスの花が風に揺れ
日に日に秋らしくなって参りました。

空が高く、雲がくっきり見える
すがすがしい季節…

日本の秋は 過ごしやすい気候や、
旬の食材・季節を感じるイベントなど
さまざまな魅力があります。
楽しみの多い好季節を思いっきり満喫しましょう



神無月



10月1日「神送り」

神様達が「出雲」に向けて出発
各家庭では、お弁当として
「お餅」や「お赤飯」を
旅立つ神様へお供えします

10月10日「神迎え」「出雲」に到着。

出雲の国「稻佐の浜」で神様を迎えたのち
「出雲大社」へ向かいます。



八百万の神々が集合



10月11日～17日「神在祭」

「神議り」と呼ばれる会議を開催
無事に会議を終え「出雲大社」から出発し
「出雲」へ向かいます。
「出雲大社」では、会議が開かれる「上宮」で
お祭りを執り行います。
また、神々の宿泊所となる境内の
「19社」でもお祭りが連日開催されます

日暮れもだんだん早くなり、すっと涼しい空気に金木犀の香りが漂うなか、いよいよ10月ですね。

10月の和風月名は、「神無月」。文字どおり全国の神様が留守になる月です。

全国からいなくなってしまった神様は島根県にある出雲大社に集っています。

そのため、唯一神様がたくさん集っている出雲では、10月を神在月と呼びます。

なぜ「出雲大社」に全国の神様が集まるのでしょうか？

「出雲大社」に祀られているのは「大国主大神」

「大国主大神」は、「天」を象徴する神様「天照大御神」に対し「大地」を象徴する神様です。

「大国主大神」には「180 有余」と言われるほどの子供がたくさんいた事から、

全國に子供達を配置する事で國を管理させていました。

そして、子供達が年に1度「出雲大社」に戻った際に、その年に起きた出来事の報告や

来年の相談をする会議を行っていました。やがて、その報告の場に他の神様も参加するようになったとされています。

神様達はどんな議題を話し合うの？？

出雲に集まった神様たちは、「神謀り(かむはかり)」と呼ばれる会議を開きます。

一週間続く会議では、主に「縁結び」が議題となります。しかし、「縁結び」とはなにも男女の恋愛のみをさすわけではありません。

人ととの出会いだけでなく、お金や仕事などあらゆるご縁についてお話しします。

出雲大社では、神様をおもてなしするために旧暦10月10日から17日までの期間に神在祭を行なっています。

でも全国の神社がほったらかしにされるわけではありません。

出雲大社に集まるのは、出雲大社の主祭神である大国主大神をはじめとする地上に住む国津神だとわれています。

天界に住む天照大神や恵比寿神などの天津神は、留守神様として各地の神社を守ってくださいます。

10月20日は、恵比寿講と呼ばれ、実りの秋であるこの時期に商売繁盛や豊作・豊漁を恵比寿様に願う行事です。

恵比寿講は、留守を守ってくださる恵比寿様を慰めるための行事とも言われる一方で、出雲に集えないのは
恵比寿講の行事があるからだとも言われています。道祖神もまた、神無月には出雲にお呼ばれしないようです。

10月26日「第二神等去出祭」

「出雲の国」から出発！

「出雲大社」では再び
お祭りが行われます。

10月末日「神迎え(帰宅)」

各家庭では、「お餅」や作物を入れた
「すいとん」などを供えて
神様を出迎えます！



「恵比寿神」が「留守神様」になった理由

「留守神様」の一柱である「恵比寿神」は始めは他の神様達と一緒に
「出雲大社」での「会議」に出席していたんですが、何年目かの会議の時に
海で釣りをしていて「会議」に遅れてしまったそうです。

それには「出雲大社」に集まつた神様達が怒り「会議」のメンバーから
外されてしまい、現在でいう所の「出禁」となり「留守神様」とされて
しまつたそうです(笑)

八百万の神々の頂点に君臨し「天皇の祖神」であり、
日本の「最高神」である「天照大御神」は
どこにも行きません！
いつでも「伊勢神宮」にご鎮座され日本の、
そして皆様の明るい未来を照らし続けてくれている
そうですよ♪



日本人は古くから秋になると、山や渓谷などに紅葉を見に出かけていました。秋は美しい自然の景色をもたらし、緑から徐々に黄色や赤に変わる木々が広がります。日本の秋は新しいエネルギーに満ちていて、同時にロマンチックな雰囲気を醸し出します。今でも秋になると海外から多くの人々が紅葉を見に訪れています。



紅葉の見頃は地域や場所によって異なりますが、早ければ9月下旬には見頃を迎える地域もあり

温暖な気候の地域だと12月上旬まで、紅葉が見られます。

でも沖縄だけは紅葉に必要な気候条件を満たさないため、残念ながら紅葉は期待できません。

ともあれ日本は標高によっても見頃は変わるために、綺麗な紅葉を見たい時は

紅葉名所ごとの見頃を確認してからお出かけしましょう



日本一早い紅葉は大雪山国立公園「旭岳」

大雪山連峰は日本で最も北に位置する山々で日本で一番遅くまで天然雪の残雪が見られ、日本で一番早い紅葉と初雪を見ることができます。

夏には大雪山固有の高山植物が数多く咲き、そして秋、紅葉前線は北から南へと下っていきます。

旭岳は標高が高いことから秋の訪れも早く、8月末に入るとウラジロナナカマドやウラシマツツジ、チングルマなどから徐々に紅葉が始まります。

日本中がまだ残暑に包まれているこの季節でも、旭岳では紅葉が始まっています。

旭岳山頂付近では、9月中旬には、日本でいち早く初雪を見ることができます。



日本一遅い紅葉は「熱海梅園」 早咲きの梅・遅い紅葉…どちらも日本一

日本で最も早咲きの梅”で有名なスポットですが、紅葉の名所でもあります。

伊豆半島は気候が温暖なため、色づきが本州よりのんびり…

東海地方の一般的な紅葉の彩りは10月下旬頃ですが、熱海梅園の紅葉は色づきが少し遅く『11月中旬～下旬頃』にかけて色づきはじめます。

その年の気温によっても変化しますが、一般的の紅葉期よりタイミングがずれています。

11月中旬あたりから早咲きの梅が開花していて、梅と紅葉が同時にみられる珍しい場所なんですよ。紅葉シーズン中、熱海梅園では「もみじまつり」が開催。

今年は11月16(土)～12月8日(日)に開催が予定で夜間には紅葉のライトアップも行われます！



日本の紅葉の魅力

日本以外にも紅葉が見られる国はあるものの、その中でも特に日本の紅葉は評価が高いですよね。日本には、カエデ、モミジ、イチョウ、ブナなど、紅葉する木の種類が非常に豊富です。これらの木々が織りなす色彩のグラデーションは、他の国では見られない美しさ♥

日本の秋は、昼夜の寒暖差が大きく、乾燥した気候が特徴で

この気候が、葉の色素を変化させ、鮮やかな赤や黄色を生み出します(о^-^o)ニ

それに日本の紅葉は、山々、渓谷、湖沼、神社仏閣など、様々な自然や建造物と調和した美しい景観を作り出します。

この調和こそが、日本の紅葉の最大の魅力と言えるのではないかでしょうか？

日本の紅葉スポットは、海外の旅行雑誌やウェブサイトの紅葉の名所ランキングで常に上位にランクインしています。

京都の嵐山、日光のいろは坂、箱根の芦ノ湖などは、特に人気の高いスポットです。

秋に黄色からオレンジ、赤など美しい色に染まるもみじ。

葉のイメージが強いですが、

実は春には新緑の上に

可愛らしい花を咲かせます。

そんなもみじには

いくつかの花言葉があり

代表する花言葉として

知られているのは

「大切な思い出」と「美しい変化」。

秋の深まりとともに色鮮やかに染まるもみじと、

記憶に刻まれる美しい景色が由来となっているようです。



高低差が 400m もあるいろは坂。坂の下から上へと変化していく紅葉のグラデーションが楽しめるのが、

その魅力の一つです。いろは坂周辺でよく見られる木は、カエデやツツジ、ナナカマド、カツラなど。

秋の色づきは 9 月下旬から始まり、2ヶ月かけてふもとまで下りていきます。



箱根エリアで最も早く紅葉が始まるといわれる芦ノ湖。湖のほとりには、恩賜箱根公園があり見事な富士山を眺めることができ、遊覧船やハイキングで紅葉狩りが楽しめます。また青空に映える仙石原のすき草原は、秋の箱根で絶対に訪れたいスポットのひとつ。仙石原では遊歩道が整備されており、草原の中を歩いて見頃することが可能。

中山観光の本社がある
茨城県も魅力がいっぱい
遊びに来てね



茨城県のおすすめ
袋田の滝・竜神大橋



ひたち海浜公園 花貫渓谷

京都五山第一位の寺格を誇る臨済宗天龍寺派の本山・天龍寺を借景とした「曹源池庭園」は、約 700 年前の夢窓国師作庭当時の面影をとどめており、わが国最初の史跡・特別名勝指定を受けています。木々が色づく晩秋、「曹源池庭園」の水面に映る紅葉のグラデーションは思わず息を呑む美しさ。さらに、12月の散り紅葉の頃になると、苔や水面に浮かぶモミジの葉の鮮やかさに魅了

撮りたくなる！文字モニュメント

最近観光地に行くとオリジナルの文字モニュメントをよく見かけます。

今では全国各地に設置され、観光振興に一役買っているようです

消費者庁が、インターネットを通じて行った「消費生活に関する意識調査」データによりますと、全国の15歳から95歳の男女3000人のうち、写真や動画をSNSに投稿している人は全体の25%…

撮影のために何をしたか複数回答で聞いたところ、「旅行」が45.6%、

「外食」が38.7%、「友達と集まる」が26.9%という結果となりました。

このようにInstagram映え、いわゆるインスタ映えする写真を投稿するために旅行や外食にお金を使う新たな消費は、着実に広がっており、インスタ映えがいかに観光につながるかを知ることができます。

全国各地に設置され、観光振興に一役買っている文字モニュメントはモニュメントとともに撮影された写真や映像がSNSなどで共有され、それを見た人が自分も行ってみたいと思える空間を創ることで、観光地の知名度向上やコマーシャルメッセージとして寄与できるのです。

新たな観光スポットを創出するにあたって必要な要素は次の2つ

- ① 視覚的に印象強い「写真を撮りたくなる」スポットであること
- ② SNSで共有された時に「魅力」が伝わるスポットであること

全国には様々な文字モニュメントがあります。

新宿アイランドにある「LOVE」

「電車男」「花より男子」「GTO ラストシンデレラ」など
数々のテレビドラマや映画作品に登場する、真っ赤な
「LOVE」を模ったオブジェ
このオブジェは、アメリカ人の芸術家、ロバート・インデ
ィアナが手掛けた彫刻作品でアメリカのニューヨーク
をはじめ、イギリス、カナダ、シンガポール、台湾、
スペインなど世界100カ国以上にも設置

